

2019年4月2日

報道関係各位

Bike Life Lab supported by バイク王  
(旧称: バイク王 バイクライフ研究所)

## Bike Life Lab supported by バイク王 『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・Z900RS』が4連覇!

対象期間 2018年12月~2019年2月

バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信することを目的に活動を行う『Bike Life Lab supported by バイク王』(旧称: バイク王 バイクライフ研究所、所在地: 東京都港区、所長: 澤篤史)は、2018年12月~2019年2月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』=『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。28回目となる今回は「カワサキ・Z900RS」が4連覇を達成しました。

### ◇『カワサキ・Z900RS』が 堂々の4連覇!

◇同・Z900RS CAFEは3回連続で2位獲得

◇ホンダ・Gold Wing Tourが3位に



### ◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくはURL (<https://www.8190.jp/bikelifelab/movie/shijou/>) をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「Bike Life Lab 調べ」とご明記ください。

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・Bike Life Lab supported by バイク王(<https://www.8190.jp/bikelifelab/news/resale-ranking/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

### プレスリリースに関するお問い合わせ先

#### ■株式会社バイク王&カンパニー

Bike Life Lab (バイクライフラボ)

担当: 今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail [bikelife\\_lab@8190.co.jp](mailto:bikelife_lab@8190.co.jp)

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

#### ■株式会社スクランブル

プランニング局

担当: 高島、小野

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail [bike-o@scramble.jp](mailto:bike-o@scramble.jp)

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

## ■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	84.9Pt
2	カワサキ・Z900RS CAFE	80.8Pt
3	ホンダ・Gold Wing Tour	79.3Pt
4	カワサキ・Ninja 250	77.9Pt
5	ホンダ・スーパーカブ C125	77.3Pt
6	ホンダ・モンキー125 ABS	76.5Pt
7	カワサキ・Ninja 400	75.7Pt
8	ホンダ・レブル 250	75.2Pt
9	カワサキ・Ninja 650	75.1Pt
10	ホンダ・CB400 SUPER FOUR	74.9Pt

◇対象期間 2018年12月～2019年2月

28回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・Z900RS』が2位に4.1pt差を付け首位に輝きました。

カワサキ・Z900RSは、第25回(2018年7月2日発表)以降、首位の座を守り続けており、今回も首位を獲得したことで4連覇となりました。昨今ニューモデルが次々発表される『ネオクラシック』というジャンルにおいて、当モデルだけは“Z1という歴史的名車からインスピレーションを受けた”という特別な生き立ちを持ちます。日本バイク・オブ・ザ・イヤー2018にて大賞を受賞するなど、オリジナルのZ1・Z2を知るシニアライダーから、ネオクラシックのデザインが新鮮に映る若年層のライダーまで、幅広い層から支持された結果であると推測します。次回以降も記録更新となるか、今後の動向にも注目です。

また、今回のランキングでは、ホンダ・Gold Wing Tourが3位となりました。2018年に約17年ぶりにフルモデルチェンジされた当モデルは、ダブルウィッシュボーン式フロントサスペンションや7速DCT等を新採用するほか、先代比で40kgほど軽量化されるなど大幅に進化しています。前回ランキングでは9位だった当モデルですが、ポイント数は前回の78.7とほぼ同水準を維持しており、安定したリセール・プライスが期待できます。

東京・大阪モーターサイクルショーが開催された中、今後のランキングにどんな変化を及ぼすのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

## ■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・スーパーカブ C125	77.3Pt
2	ホンダ・モンキー125 ABS	76.5Pt
3	ホンダ・モンキー125	74.8Pt
4	ホンダ・PCX	73.7Pt
5	ホンダ・クロスカブ 110	73.0Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 250	77.9Pt
2	ホンダ・レブル 250	75.2Pt
3	ホンダ・CB250R	73.7Pt
4	ホンダ・レブル 250 ABS	72.4Pt
5	ホンダ・CBR250RR	71.9Pt

## ・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja 400	75.7Pt
2	ホンダ・CB400 SUPER FOUR	74.9Pt
3	ホンダ・CBR400R	70.7Pt
4	ヤマハ・YZF-R3	63.1Pt
5	ホンダ・CB400 SUPER BOLD'OR	63.0Pt

## ・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS	84.9Pt
2	カワサキ・Z900RS CAFE	80.8Pt
3	ホンダ・Gold Wing Tour	79.3Pt
4	カワサキ・Ninja 650	75.1Pt
5	ヤマハ・MT-09 SP ABS	74.0Pt

### ■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2019年4月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間約11万台の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Labが独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

### ■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2019年4月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2019年4月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・ モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・ 期間内に、Bike Life Lab 独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

### 【Bike Life Lab supported by バイク王について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織であり、2017年3月からは「Bike Life Lab (バイクライフラボ)」というバイクコンテンツサイトを運営しております。

この2月より、ライダーにとってより身近で、より強固なエンゲージメントを持った情報発信組織に成長していくために、「バイク王 バイクライフ研究所」を「Bike Life Lab supported by バイク王」に名称変更し、併せてバイクコンテンツサイト名も「Bike Life Lab supported by バイク王」に統合しました。

Bike Life Lab supported by バイク王は、バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信していくことで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

**Bike Life Lab**  
supported by **BIKE 王**



Bike Life Lab  
所長 澤篤史